

有磨学区 まちづくり計画

～ 希望と住みよいまち『有磨』～



2015年10月25日 ふれあい祭り撮影

有磨学区まちづくり推進委員会

目 次

はじめに

1. 有磨学区の概要	1
(1) 有磨の歴史	1
(2) 世帯数と人口の推移	2
(3) 高齢化率の推移	2
(4) 子どもの推移(0歳～14歳)	2
2. 学区の現状と課題	3
3. 基本方針並びに主な施策	3
◎生活環境と安心・安全のまちづくり	3
◎健康・福祉のまちづくり	4
◎教育・文化のまちづくり	4
◎活力にあふれたまちづくり	4
4. まちづくり事業計画	5
5. まちづくり組織図	6

はじめに

全国的に少子高齢化・人口減少社会が進展しており、地域社会は大きく変化しています。私たち福山市の市民生活を取り巻く環境も様々な分野で変化しています。このような中で福山市は、市制施行100周年となる2016年に向けて、今後どのようなまちづくりをめざすのか、その方向性や重点項目を定めた新たな「第二次福山市協働のまちづくり行動計画」を策定しました。

自分たちの住む地域の将来像に向けて、ふるさとに誇りと愛着を持ち続けることができる、持続可能となる「まちづくり計画」を策定することになりました。

そのために、地域の皆様にご協力いただいたアンケート調査やまちづくり座談会をとおしてお寄せいただいた当学区の現状や解決すべき課題を地域の皆様が共有し、地域全体として取り組むよりどころとするために「有磨学区まちづくり計画策定委員会」が策定したものです。

今後、計画の推進に際しましては、皆様方のご理解とご協力をいただき積極的なご参加をお願いいたします。

1. 有磨学区の概要

有磨学区は、市の北西部に位置し、府中市と尾道市に隣接しています。地元企業は、小規模の家内工業が多く、そのほか福山市立動物園および富谷グランドや富谷ドームランドがあり、学区内の世帯数は2015年3月末現在で、1,176世帯、人口は2,985人で17の自治会で構成されています。

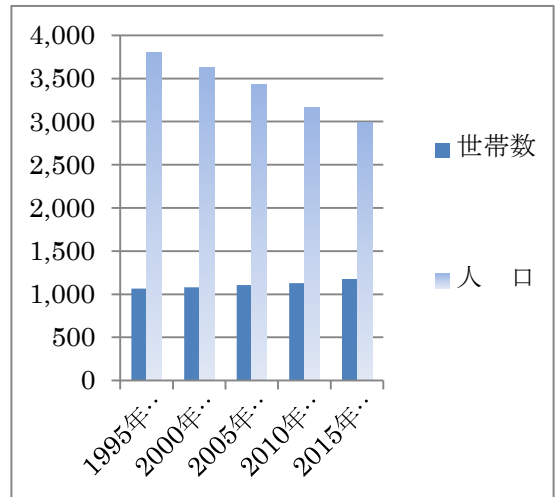
(1) 有磨の歴史

備後緋の発明者である富田久三郎は有地の生まれで、洋綿糸を応用し発明当時は文久緋と呼ばれ、後に有地緋、更に発展して「備後緋」といわれ、全国的に有名となり、このことは緋音頭にも歌われました。

1955年(昭和30年)4月1日有磨村、福相村が合併して芦田町となり、1974年(昭和49年)4月1日福山市芦田町となり現在に至っています。

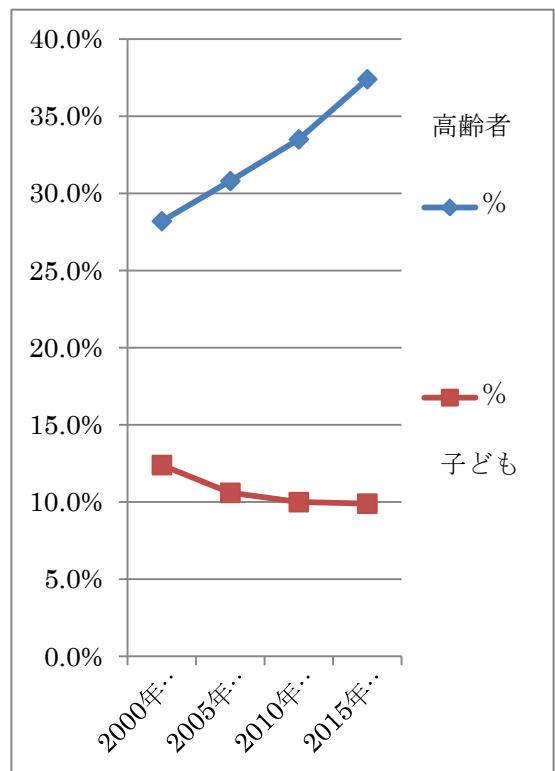
(2) 世帯数と人口の推移 (各年3月末)

	世帯数	人口
1995年(平成7年)	1,064	3,806
2000年(平成12年)	1,079	3,630
2005年(平成17年)	1,106	3,429
2010年(平成22年)	1,129	3,163
2015年(平成27年)	1,176	2,985



(3) 高齢化率の推移 (各年3月末 高齢化率=65歳以上)

	人数	%
2000年(平成12年)	1,022	28.2
2005年(平成17年)	1,059	30.8
2010年(平成22年)	1,059	33.5
2015年(平成27年)	1,117	37.4



(4) 子どもの推移 (0歳~14歳)

(各年3月末)

	人数	%
2000年(平成12年)	450	12.4
2005年(平成17年)	365	10.6
2010年(平成22年)	315	10.0
2015年(平成27年)	297	9.9

2. 学区の現状と課題

学区を取り巻く環境は、豊かな自然環境に恵まれていますが、小規模の家内工業で就労先は学区外が大多数となってきています。若者の流出をはじめ生活様式の多様化で、核家族化・少子高齢化が進み、昼間は高齢者のみの世帯や一人暮らしの世帯が多くなっています。とりわけ、災害発生時の緊急避難行動ができにくい場所や市街化調整区域の指定をされているため、Iターン^(※注1)等の新築住宅を建てることのできない状況があり、人口増に繋がらないので、高齢者を取り巻く環境は年々厳しさを増し生活不安を抱えています。

特に、有磨地域は今後、高齢化が進み、地域活動や役員選出、祭りなどの行事も難しく住民力の低下となり、地域活性化が図られる状況は困難となるため、市街化調整区域指定を解除し、若い人たちが少しでも「ふるさと有磨」に戻ることが望まれています。また、公共交通機関（バス）の便数の減少で買い物や通学・通院など外出の不便を感じ不安を抱えています。

さらに、学区内の道路網の整備も十分でなく、地域によっては、車の離合や緊急車両の進入にも支障があります。

※注1 Iターンとは、都心部で生まれ育った人が、地方の企業に転職し移住すること。または、直接的に都会から地方へ転居することをいいます。

3. 基本方針並びに主な施策

委員会では、アンケート調査やまちづくり座談会をとおして、皆様からいただいた貴重なご意見の主要なものを取りまとめ集約し、2015年4月に全戸配布し「希望と住みよいまち有磨学区」に向けて次の4点に絞りました。

◎生活環境と安心・安全のまちづくり

地域の環境対策と通学路や河川の清掃、空き缶のポイ捨てなど地域環境づくりを考えていきます。

子どもの見守り活動をはじめ、各地域での防災意識向上や身近な避難場所の周知、避難行動要支援者の把握と日常的な見守りや声かけなど、子どもからお年寄りまで、安心して安全に暮らせるまちづくりを推進していきます。



◎健康・福祉のまちづくり

高齢化社会が進むなか、安心して暮らせる支援や生きがいづくりを感じることができる仕組みづくりを考えていきます。

高齢者・子育て中の親が交流できるサロンや交流事業・健康でいきいきと共に生活するために、健康づくりや講演会・講習会などを推進していきます。



◎教育・文化のまちづくり

誰もが尊重されるまちづくりをめざすとともに、歴史と伝統文化を守り、郷土への愛着心を育む取り組みを推進していきます。



◎活力にあふれたまちづくり

学区民の交流を図るために、年齢・男女問わず多くの学区民が気軽に参加できる取り組みや住民の社会参加を促し、地域の連帯感を高め心豊かなふれあいのある地域づくりを今までの内容を検討しながら充実を図り推進していきます。



《希望と住みよい有磨学区をめざして》

事業の推進にあたっては、関係機関・各種団体などと緊密な連携を図りながら取り組んでいきます。

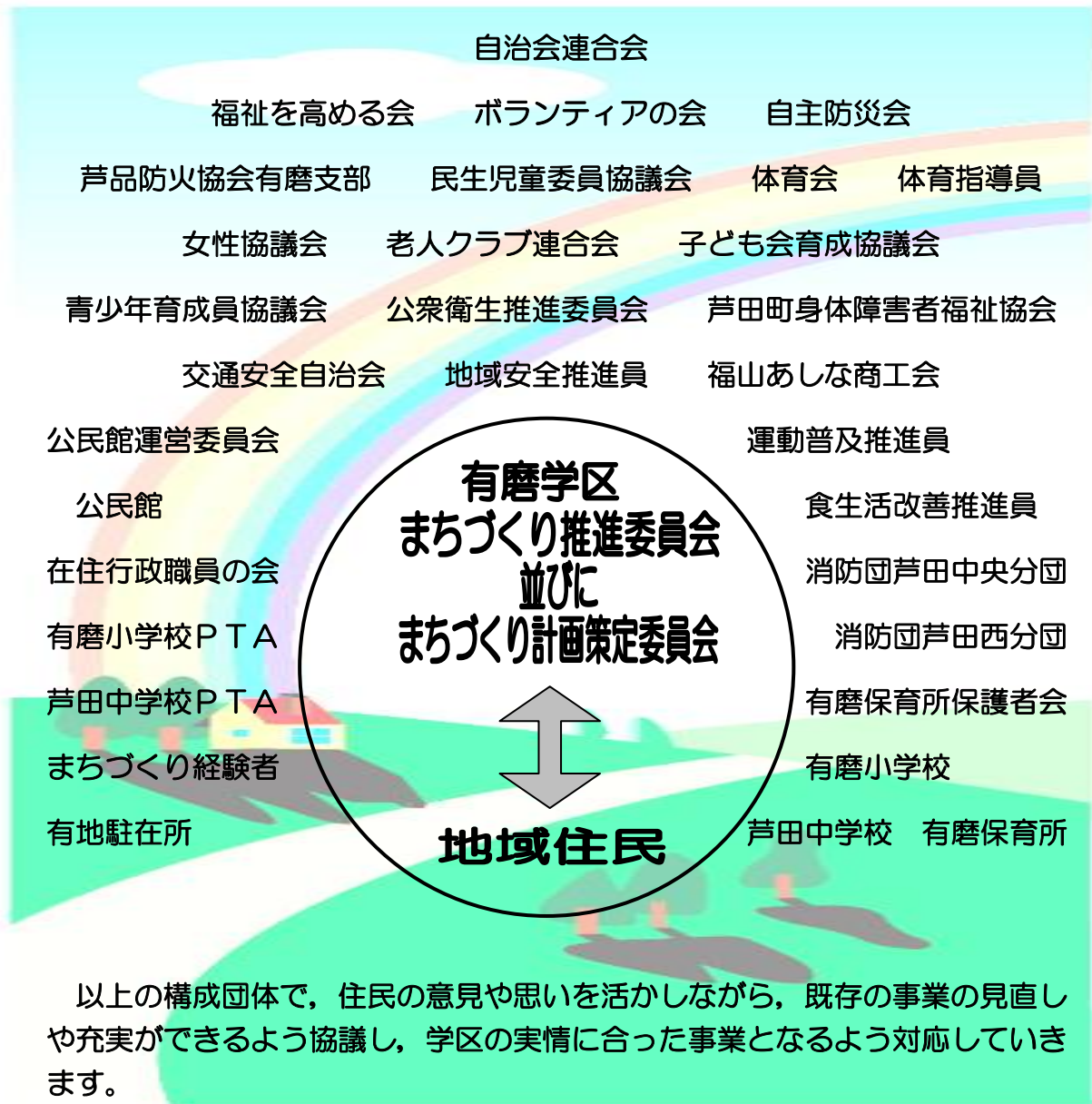
計画実施については、「自助」「共助」「公助」を基本に持続可能な事業展開ができるよう情報の共有化を図り、多くの住民のご参加とご協力をいただきながら啓発や活動に取り組んでいきます。

4. まちづくり事業計画

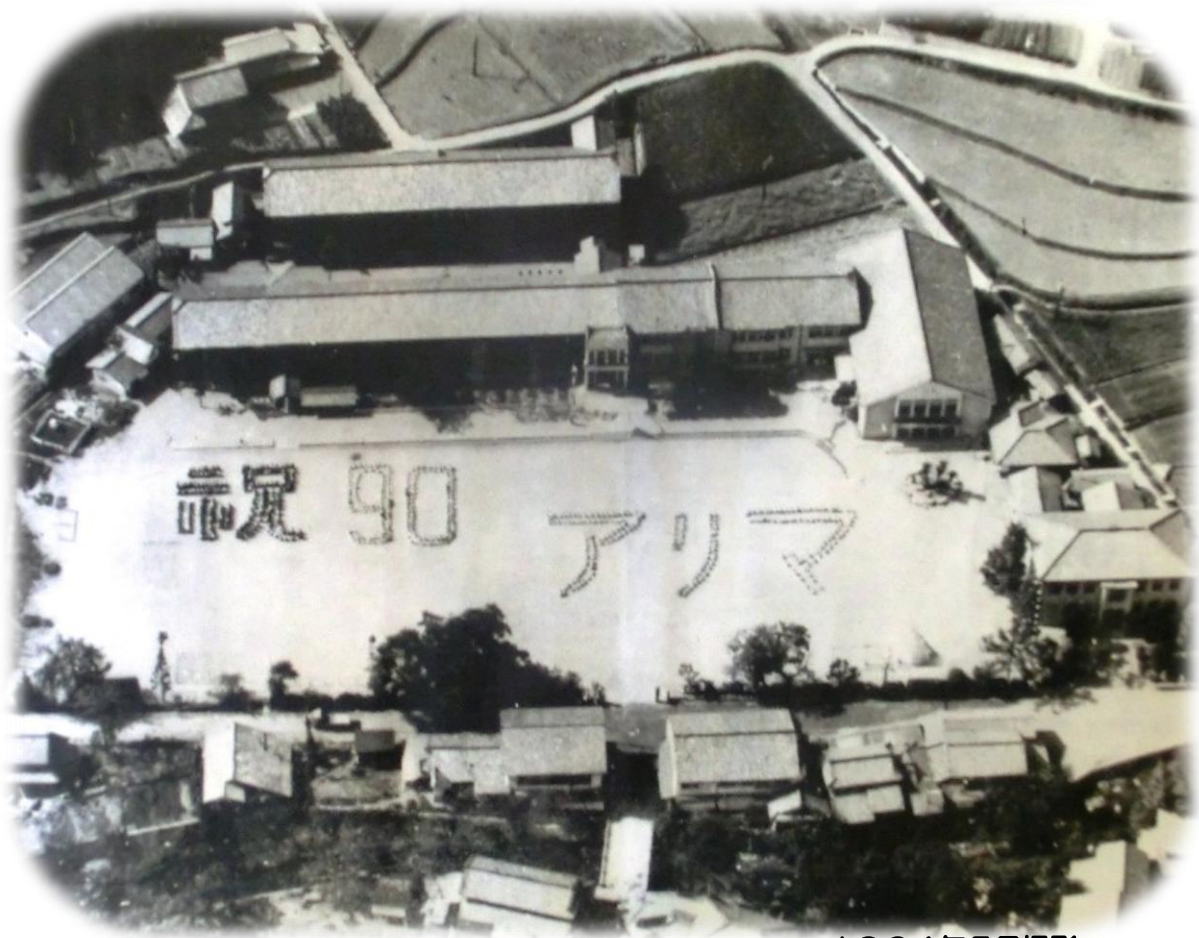
※継続・中期は3年・長期は5年を目安とする。

事業項目	事業内容	実施主体			目標達成時期		
		学区	協働	行政	継続	中期	長期
生活環境と生活安全	災害に強いまちづくり (防災訓練 等)	○		○	○		○
	犯罪・交通事故のない まちづくり	○		○	○		
	安心・安全パトロール活動	○			○		
	道路や河川清掃活動などや 地域の環境づくり 例えば (・ 榎(カヤ)の巨木周辺清掃 ・ グリーンカーテンの取組 ・ ばら普及講習会 ・ 環境ポスターの取組 ・ 空き缶のポイ捨て ・ ごみの分け方・出し方 ・ 犬, ねこの糞の後始末 等)	○		○	○		○
地域福祉活動	健康講座 (スポーツ 等)		○		○		
	ふれあい活動 (地域サロン活動 等)	○			○		
	支えあい活動 例えば (・ お出かけ支援 ・ 見守りや声かけ活動 等)	○	○				○
教育・文化活動	人権を尊重するまちづくり (地域別住民学習会 等)		○		○		
	郷土を愛し、歴史や文化の 学習推進 例えば (・ 郷土史研究会発足 ・ キャラクター製作 等)	○				○	
活力の推進	ふれあいスポーツ (運動会 等)	○			○		
	ふれあい祭り	○			○		
	ええ〜とこ夏祭り	○			○		

5. まちづくり組織図



福山市無形文化財（民俗文化財）柞磨八幡神社 継獅子舞



1964年5月撮影

有磨学区まちづくり計画

2015年（平成27年）11月策定

発行 有磨学区まちづくり推進委員会

福山市芦田町上有地123-3

（福山市有磨公民館内）

084-958-3849

